

輝く女性の活躍を加速する
男性リーダーの会

行動宣言

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」 行動宣言にご賛同ください！

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言とは？

輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会
行動宣言

私たち男性リーダーは、輝く女性の活躍を高め、その持てる能力を最大限発揮できるよう、以下の取り組みを行うことをここに宣言します。

自ら行動し、発信する

- 私たちは、わが社の女性活躍に関する目標を設定し、達成に向けた取り組みを進め、その進捗状況を定期的に把握・公表し、取り組みを継続的に改善します。
- 私たちは、「女性の活躍が、わが社にとっていかに重要か」という想いを、自らの言葉で社会に発信します。
- 私たちは、組織に資する視点をもたらすことがより良い価値を生むことを発信し、わが社の男性中堅リーダーの意識変革を進めます。
- 私たちが関与するあらゆる機会に女性が参加していることを確認し、その重要性を訴えていきます。

現状を打破する

- 私たちは、積極的に人材を発掘し、能力を開発し、登用することで、わが社の女性の活躍を支えていきます。そのため、あらゆる機会に、「なぜ、女性が一人もいないのか」「なぜ、女性が30%以上いないのか」「なぜ、男女がフィフティ・フィフティ(50:50)でないのか」を確認し、組織の意識変革を促します。
- 私たちは、これ以上柔軟な働き方ができないのかを確認することによって、女性の活躍を阻害する要因を取り除くとともに、男女の働き方の変革を進めます。
- 私たちは、女性がさまざまなライフイベントを経ながらキャリアを継続しているかデータで検証しながら、成長の機会を計画的に提供し、支援を続けます。
- 私たちは、わが社のサプライヤーやパートナー企業に対し、女性の活躍推進の重要性を伝えるとともに、女性の活躍推進に積極的に取り組むことを奨励し、支援していきます。

ネットワーキングを進める

- 私たちは、輝く女性の活躍を加速する男性リーダーのネットワークを広げ、成功事例を共有するとともに、輝く女性のネットワーク構築を支援し、連携していきます。

平成 26 年 6 月 27 日

2014年3月、首相官邸で「輝く女性応援会議」を開催。各地域・分野で、輝く・輝こうとする女性たちを応援してこうというムーブメントがスタートしました。

2014年6月には、これまで女性の活躍に積極的に取り組んでこられた男性リーダーが集まり、具体的な活動指針を定めた「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言を策定・公表しました。

行動宣言は、「自ら行動し、発信する」「現状を打破する」「ネットワーキングを進める」の3項目からなり、男性リーダーが様々な女性の意欲を高め、その持てる能力を最大限発揮できるよう、具体的に取り組んでいくことを宣言しています。

2015年10月末時点で**31名の男性リーダー**が行動宣言に賛同しています。

賛同者は、どのような活動をしているの？

○賛同者自らが女性活躍の重要性を積極的に発信！

賛同者には、所属企業のホームページ等で行動宣言に賛同したことを掲載していただきます。国際会議や、各種広報誌や研修等、さまざまな場面で女性活躍推進の重要性を発信いただいています。



各種イベントに賛同者が登壇！
◀ 在日米国商工会議所 (ACCJ) 主催の Women in Business Summit (2015年6月)
▼ 女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム (2015年8月)



賛同者相互のネットワーキングも充実！

賛同者ミーティングも定期的で開催しています。2015年4月に開催された第3回賛同者ミーティングには、女性活躍担当大臣も出席し、活発な意見が出されました。



◀ 第3回賛同者ミーティングの様子

「女性の活躍推進 報告書」を作成！

2015年8月、賛同者の取組内容をより多くの方々の参考にしていただくため、賛同者の男性リーダーの女性活躍推進への想い・原点や、女性活躍推進に役立つヒントを掲載した報告書(日・英)を作成しました。



◀ 女性の活躍推進報告書(日・英で発行しています)

報告書のダウンロードはこちらから

http://www.gender.go.jp/policysokushin/male_leaders.html

男性リーダー 行動宣言

検索

行動宣言に賛同するには？

内閣府男女共同参画局から賛同手続きを行うことができます。必要事項を記入の上、メールでご連絡ください。内容確認後、具体的な手続きをご案内します。

http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders3.html

男性リーダー 賛同したい

検索



内閣府